

引用文献

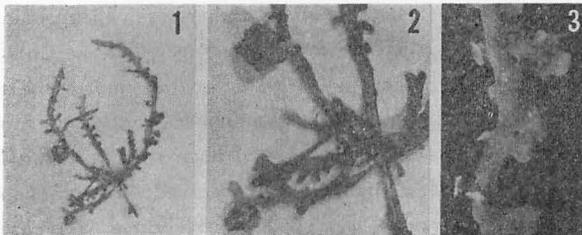
- 1) 山口県 (1976) 昭和51年版環境白書. 山口県,
- 2) 環境庁 (1971) 水質汚濁に係る環境基準について. 環境庁告示第59号.
- 3) 新崎盛敏 (1975) 生物指標としての海藻. 日本生態学会環境問題専門委員会編. (環境と生物指標2, 水界編). 215-224. 共立出版, 東京.
- 4) 防府市 (1976) 公害対策の概要 第5集 (プリント). 防府市.
- 5) 山口県内海水産試験場 (1976) 私信.

ノ ー ト

斎藤 譲*: ソゾ属の本邦新産種, 1. Yuzuru SAITO: *Laurencia* species new to Japan, 1.

Laurencia surculigera Tseng, Pap. Michigan Acad. Sci. Arts & Lett. 28: 192. pl. 1. f. 4, 5. 1943. 和名: イワカガリ (新称). 産地: 長崎県野母崎町の長崎大学水産実験所付近, 潮間帯の中部から下部の岩上 (1976年7月13日右田清治採集).

香港から記載された本種は以前ハワイでも記録された (SAITO, Pac. Sci., 23, p. 159, 1969) が, このたび右田教授のご厚意により九州で見出された標本と, その生育状態についての資料の提供を受けた。雌雄の体, 四分孢子子の3者とも観察されたが, どれも長さ5cm以下で岩面をほふくし, 枝の変化した多くの付着器で岩につく (Figs. 1-3)。表皮細胞は小枝の横断面で, あまり顕著ではないにしても, 放射状に長くのびて柵状にならび, 縦方向の原形質連絡はない。四分孢子子は末端枝の変成した成実枝の頂端部に集合し, 直角型配列が明らかである。したがって, Subgenus *Chondrophycus* カタソゾ亜属の1種で *Laurencia yamadana* HOWE (Syn. *Laurencia amabilis* YAMADA) シマソゾに近縁であるが, より小型で, 岩面をほふくし, 各部で岩につく点で識別される。



Laurencia surculigera
TSENG (Nomozaki, Kyushu,
Japan, 13-VII-1976). 1: A
herbarium specimen, $\times 1$.
2: Close up of the basal part,
 $\times 3$. 3: A branch bearing
several discoid adhesive
organs, $\times 5$.

* 北海道大学水産学部植物学教室 (041 函館市港町3-1-1)
Dept. Bot., Fac. Fish., Hokkaido Univ., Minatomachi, Hakodate City, 041 Japan.
Bull. Jap. Soc. Phycol. 25: 216. 1977.